

第4期科学技術基本計画

(平成23年8月閣議決定)

- ・分野別から課題達成型への転換
- ・科学技術とイノベーションの一体的推進



(重要課題の達成に向けた)

平成25年度科学技術関係予算の重点化

アクションプラン

最重要

- 総合科学技術会議が最も重要と考える施策の方向性を概算要求前に示すことにより、政府全体の科学技術関係予算の最重要化に向けて施策を誘導 → 「復興再生」「グリーン」「ライフ」

重点施策パッケージ

重点

- 総合科学技術会議は、アクションプラン以外に推進すべき多様な重要課題に関し、概算要求前に重点化課題・取組を提示し、各府省の提案を支援



「重点施策パッケージ」とは・・・

- 第4期科学技術基本計画に従い、各府省が成果検証可能な具体的目標を掲げ、その達成に必要な複数の施策をまとめた施策群をいう



- (アクションプラン以外について) 総合科学技術会議が提示した重点化課題・取組(安全・豊かで質の高い国民生活」「産業競争力の強化」「国家存立基盤の保持」など)を基に、各府省が特に推進しようとする施策パッケージを提案



- 総合科学技術会議として、各府省が提案した施策パッケージから重点化すべきものを特定

平成25年度重点施策パッケージ特定までの経緯

- 7/6(金) 「科学技術関係予算の重点化の具体的進め方」(科学技術政策担当大臣・総合科学技術会議有識者議員決定)
 - ・重点施策パッケージ特定の要件・基準等を明示
- 7/19(木) 「平成25年度重点施策パッケージの重点化課題・取組」(科学技術イノベーション政策推進専門調査会決定)
 - ・平成25年度に向けて、(アクションプラン以外の)多様な重要課題及びその達成に向けた重点化取組等、
重点施策パッケージの方向性を明示
- 7/30(月) 「資源配分方針」(総合科学技術会議本会議決定)
 - ・平成25年度予算について、我が国が直面する重要課題の達成に向けて「アクションプラン」と「重点施策パッケージ」に重点的に資源配分すること等を決定
- 9/7(金) 平成25年度予算概算要求
- 9/10(月) 各府省からの施策パッケージ提案
- 9月下旬～10月中旬 総合科学技術会議有識者議員及び外部専門家によるヒアリング・指摘等
 - ⇒ 各府省から提案された施策パッケージについて、重点施策パッケージ特定の基準に基づき、成果検証可能な目標設定、目標達成に向けたアプローチ、実施体制等について審査し、各府省への改善に向けた指摘等を実施
- 10/18(木) 平成25年度重点施策パッケージ特定について総合科学技術会議有識者議員による判定
- 10/25(木) 平成25年度重点施策パッケージ特定・公表(科学技術政策担当大臣・総合科学技術会議有識者議員決定)

特定された重点施策パッケージ一覧(案)

施策パッケージ名	新規 /継続	担当府省 (連携府省)	施策パッケージの H25概算要求額 (H24当初予算額)
① ICT国際連携推進研究開発プログラム	継続	総務省	3.8億円+32.2億円程度の内数 (1.0億円+32.5億円程度の内数)
② 能動的で信頼性の高い情報セキュリティ技術の研究開発	新規	総務省 (経済産業省)	11.3億円+14.9億円程度の内数
③ ビッグデータによる新産業・イノベーションの創出に向けた基盤整備	新規	総務省 (経済産業省) (文部科学省)	42.1億円+5.6億円の内数
④ 資源問題の解決に向けた希少元素の循環/ 代替材料創製技術の開発	継続	文部科学省 (経済産業省) (環境省)	33.88億円+110億円の内数 (1.0億円+14.55億円の内数)
⑤ 先進的宇宙システム等の研究開発による 宇宙産業基盤の強化	継続	経済産業省 (内閣府) (文部科学省)	27.5億円 (35.8億円)
⑥ 海洋資源開発の基盤技術の研究開発推進 プログラム	新規	国土交通省	8.0億円
⑦ 子どもの脆弱性を考慮したリスク管理体制構築 による安全・安心な環境の実現	継続	環境省 (文部科学省) (厚生労働省)	64.8億円 (45.26億円)
⑧ 水質事故に備えた危機管理・リスク管理の推進	新規	環境省 (厚生労働省)	3.5億円
⑨ 理系分野における女性の活躍支援	新規	文部科学省	20.75億円
			合計額： 約378億円 (約130億円)